

4 中期財政計画の検証

☆ 目標1：普通会計で市債残高120億円以上圧縮 達成見込

【H26 決算比・3 か年間の合計】

市債発行額の抑制と元金ベースのプライマリーバランスの黒字化を図ることにより、将来の負担となる負債を可能な限り抑え、持続可能な財政運営を実現する。

市債残高（普通会計）

- ・ 28 年度末見込額 1,883 億 9,100 万円（対計画値 4 億 2,100 万円の減）
（H28 末計画値 1,888 億 1,200 万円）

※ 普通会計 … 一般会計・5 特別会計（住宅・公園墓地・用地取得・母子父子寡婦・公債管理（普通会計分のみ））

※ 市債残高は、旧宮崎公立大学事務組合債の承継分（H28 末残高見込 3 億 9,200 万円）を含む。

<参 考>

- ・ 市債発行額
普通会計 148 億 8,300 万円（一般会計 144 億 3,900 万円）
- ・ 元金償還額
普通会計 200 億 8,700 万円（一般会計 194 億 1,000 万円）

☆ 目標2：財政5基金残高200億円以上の確保 達成見込

経費を抑制するとともに、財源の確保に努めることで、基金の取崩しを最低限に抑え、自前の財源確保による財政の自立性及び緊急時への対応を図る。

財政5基金残高

- ・ 28 年度末見込額 279 億 1,700 万円（対計画値 18 億 800 万円の増）
（H28 末計画値 261 億 900 万円）

※ 財政5基金 … 財政調整基金・財源対策債等償還基金・公共施設整備等基金・地域振興基金・土地開発基金

<参 考>

財政対策基金取崩額

- ・ H28 予算額 4 億円
- ・ H28 計画値 4 億円

(取崩しの内容)・財政調整基金 4 億円 (※退職手当分 9 億 9,900 万円を除く)

☆ 目標 3：歳入歳出改革による一般財源の確保・削減（1 3 億円）
を目指す

(一般財源ベース)【H26 予算比：3 か年の合計】

達成

地方交付税の合併算定替縮減に対応するため、歳入歳出一体となった改革を行う。

※ 歳入歳出改革により、今後、確保・削減できる一般財源額の合計

- ・ 28 年度確保・削減額 4 億 6,900 万円 (対計画値 6,900 万円の増)

(H28 計画値 4 億円)

歳入改革 (4,200 万円)

- | | | |
|-----------------------|---|------------|
| ・ 基金の長期運用による運用益 | 約 | 3,300 万円の増 |
| ・ 家庭ごみ処理手数料の有料化 (清武分) | 約 | 900 万円の増 |

歳出改革 (4 億 2,700 万円)

- | | | |
|----------------------|---|----------------|
| ・ 事業評価を活用した事業内容見直しなど | 約 | 2 億 6,600 万円の減 |
| ・ 業務の民間委託などによる節減効果 | 約 | 1 億 6,000 万円の減 |
| ・ 防犯灯 LED 化に伴う電気料 | 約 | 100 万円の減 |